

医学・医療の攻究と
地域医療への貢献をめざして

若手医師育成の 環境整備にご寄付を

 札幌医科大学
SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

目標金額 **700万円** 2024年5月13日(月)から7月11日(木)まで

札幌医科大学 公式クラウドファンディング

近年、外科治療は腹腔鏡、内視鏡、関節鏡、ロボット手術支援機器などを用いた手術の発展が目覚ましく、患者様の身体への負担を低減するとともに従来手が届きにくかった場所へのアプローチも可能になってきました。一方、医師の術前の十分な技術習得がますます重要となり、札幌医科大学では、医師がご献体を使わせていただき外科手技の習練を行うサージカルトレーニングを長年支援してきました。

サージカルトレーニングでは、実際の手術現場に近い環境を整備する必要がありますが、医療機器はどれも非常に高額であり、消耗品も多数消費します。また、一度のトレーニング現場で最大限の研修効率を実現するためには、画像・映像機器の充実も欠かせません。しかしながら、長期的に安定して、より多くの外科医師に研修機会を提供するためには資金が不足しております。そこでクラウドファンディングの実施を決意致しました。

手術関連機器および教育支援機器の購入のための資金援助をいただければ、北海道、さらに全国の外科医師の技術修練と、外科領域を志望する医学生・若手医師への卒後解剖教育の拠点として充実させることができます。その成果をひろく市民の皆様への医療安全向上に還元してまいります。

是非とも本学の趣旨にご理解、ご賛同いただき、格別のご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

インターネットでのご寄付が難しい方は、下記お問い合わせ先までお知らせください。現金でのご寄付について、ご案内いたします。

※本プロジェクトはAll or nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。
※プロジェクトページは5月13日よりご覧いただけます。

- プロジェクト内容について：サージカルトレーニングセンター 大崎 yohsaki@sapmed.ac.jp
- 税金控除について・Webでのご寄付が難しい方：事務局研究支援課 瀬上 kihukin@sapmed.ac.jp

 READYFOR

札幌医科大学 若手医師育成 レディーフォー



https://readyfor.jp/projects/SMUSTC_2024

ご寄付の方法

「札幌医科大学 若手医師育成 レディーフォー」で検索。または表面のQRコードを読み込んでください。

1

プロジェクトの寄付にすすむ
をクリック



2

希望するコースにチェック
を入れ、個数を選択し
次に進むをクリック



3

はじめて利用する方は新規登録へ
をクリック



4

情報を入力し
メールアドレスで登録をクリック



5

支払い方法を選択する



6

必要情報を入力

- ★クレジットカードの場合
→カード情報を入力
- ★銀行振込の場合
→画面の案内をお読みください
- ★コンビニ支払いの場合
→画面の案内をお読みいただき、
コンビニの種類を選択

※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。寄付金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。
受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

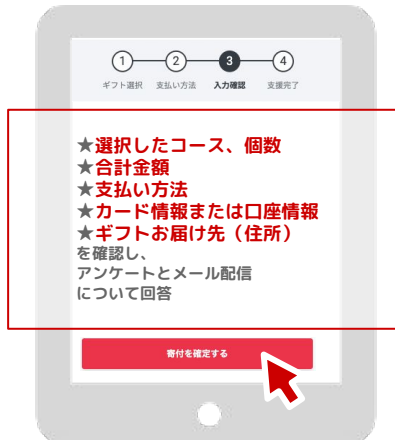
7

ギフトお届け先(住所)を入力し
入力内容の確認画面へをクリック



8

入力情報を最終確認し、
寄付を確定するをクリック



- ★選択したコース、個数
- ★合計金額
- ★支払い方法
- ★カード情報または口座情報
- ★ギフトお届け先(住所)を確認し、アンケートとメール配信について回答

お手続き完了です！

あたたかい応援を
ありがとうございました！

READYFOR

銀行振込・コンビニ支払いの場合
「支援履歴」から返金先情報のご設定
をご確認ください。

趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素から本学に対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、外科手術は腹腔鏡、内視鏡、関節鏡、ロボット手術支援機器などを用いた手技の発展が目覚ましく、患者様の身体への負担を低減するとともに従来手が届きにくかった場所へのアプローチも可能になってまいりました。こうした新しい手術支援機器の操作習熟が重要とされています。

札幌医科大学では、若手の外科医師の基礎的手技修練やベテラン外科医師の高難度技術習得のために、手術現場での技術指導をはじめ、模型なども使いさまざまな研修をおこなっております。

その中でも、ご献体を用いた実践手術さながらに技術修練を行う「サージカルトレーニング」は、今日外科医師が技術習得や新治療法開発を行うために大変重要な機会となっています。本学は国内ではいち早く10年以上にわたり、外科系講座、解剖学講座の協力のもと、学内外の外科医師の技術研修、外科医を志す医学生・若手医師への卒後教育、新規手術法開発や治療法開発のための研究活動を、法的・倫理的規範およびご献体者の生前同意を遵守しながら支援してまいりました。さらに2021年12月より「サージカルトレーニングセンター」を立ち上げ、一層の教育支援体制を整えております。

サージカルトレーニングでは、実際の手術現場に近い環境を整備する必要がありますが、医療機器は非常に高額であり、消耗品も多数消費いたします。また、一度のトレーニング現場で最大限の研修効率を実現するためには、教育・記録用の画像・映像機器の充実が欠かせません。本学では大学からの援助、厚生労働省などの施設整備助成金、トレーニング参加者からの参加費などでサージカルトレーニングセンターを運営していますが、長期的に安定して、より多くの外科医師に研修機会を提供するためには資金が不足しております。そこでクラウドファンディングの実施を決意いたしました。

今回のクラウドファンディングを通じて、手術関連機器および教育支援機器の購入のための資金援助をいただければ、北海道、さらに全国の外科医師の技術修練と、外科領域を志望する医学生・若手医師への卒後解剖教育の拠点として札幌医科大学サージカルトレーニングセンターを充実させることができます。その成果をひろく市民の皆様への医療安全向上に還元してまいります。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、是非とも本学の趣旨にご理解、ご賛同いただき、格別のご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和6年5月吉日

札幌医科大学サージカルトレーニングセンター長
医学部解剖学第一講座 教授 大崎 雄樹

ご寄付金募集概要

1. 募集概要

タイトル：札幌医科大学 | 外科手技トレーニング施設の環境整備へご寄付を

募集金額：700万円

募集期間：2024年5月13日（月）9:00～2024年7月11日（木）23:00【59日間】

プロジェクトURL：https://readyfor.jp/projects/SMUSTC_2024



※ 本プロジェクトへのご寄付は札幌医科大学への寄付として受け付けられ、2024年分として確定申告いただくことにより税制上の優遇措置を受けることができます。法人様は全額損金算入可能です。

※ 目標金額に満たない場合、寄付金は全額返金となります。

※ なお、本プロジェクトへのご寄付の有無が、現在の関係性に影響を与えるものではありません。あくまでも趣旨にご賛同いただいた場合のみで、もちろん結構でございます。

※ご寄付コースは5,000円、10,000円、30,000円、50,000円、100,000円、300,000円、500,000円、1,000,000円がございます。ご寄付いただいた方のお名前は芳名録としてホームページ等で公開いたします（希望者のみ）。詳細はプロジェクトページをご覧くださいませ。

2. 資金使途

①手術関連機器の充実

- ・複数の外科領域で共通して高頻度で使用する機器（体位保持用レビテーターなど）の優先的購入により、多くのトレーニング参加者に利益還元を目指します。
- ・備品を充実させ、将来的にセンターから参加者に安価で消耗品等を貸与する体制を目指します。

②教育・記録用の画像・映像機器の充実

- ・腹腔鏡、内視鏡、関節鏡などの手術画像を共有視聴できる画像システムを複数導入することにより、講師の先生の技術教育を一度に多くの受講者が視聴学習できるようにします。
- ・教育用の録画システムを充実することにより、参加医師の方々の復習や、学術集会等での後日学習を可能にし、より広い層の医師に技術学習の機会を提供したいと思います。
- ・センターのホームページ開設により、ご支援をもとに行なった活動内容を公開いたします。

3. クラウドファンディングによるインターネットでのご寄付が難しい場合

以下問い合わせ先までご連絡ください。

事務局研究支援課 瀬上

Mail：kihukin@sapmed.ac.jp

4. クラウドファンディングの趣旨に関するお問合せは以下にご連絡ください。

札幌医科大学サージカルトレーニングセンター長

大崎 雄樹

Mail：yohsaki@sapmed.ac.jp